

博物館

1. 概要

平塚市博物館は、豊かな人間形成の一助を担うことを目的に、過去・現在・未来にわたる「相模川流域の自然と文化」を展望し、歴史・考古・民俗・生物・地質・天文の各分野の視点を複合させ、地域に密着した展示活動・教育普及活動・調査研究活動などを行っています。これらの活動を展開していくために多くの市民の参画・協力を得ており、全国でも例のないタイプの「地域総合博物館」として高い評価を受け、利用者や関係機関等から「よりよい生活をするためによりよく地域を知る」博物館として親しまれています。

2. 当初予算

事業名		事業概要	予算 (単位：千円)
1	博物館特別展事業 【実計】	学芸員が収集・調査・研究した成果を市民の知的共有財産とするため、特別展を開催し、その成果を分かりやすく具体的に展示します。令和6年度は、生物、民俗、歴史の各分野の特別展を開催します。	5,362
2	博物館教育普及活動 推進事業 【実計】	市民の生涯学習に役立てるため、体験学習、各種の講座、野外教育活動、プラネタリウム投影等を実施します。また、考古分野の遺物保存処理、アナログ映像のデジタル化等を進めます。	32,548
3	博物館協議会事業	博物館の運営全般にわたる諮問及び協議を行うため、博物館協議会を開催します。	170
4	博物館管理事業	博物館の安全かつ快適な施設環境を保持するため、施設の適切な維持管理を行います。	47,881
5	博物館情報システム事業	市民に地域への関心を深めてもらうため、博物館が集めた平塚及び相模川流域に関する情報を広くインターネットで発信します。	1,665
6	市史編さん事業	本市の歴史的発展過程を振り返り、郷土に対する市民の関心を高めるため、平塚市史を編さんします。 『平塚市史 年表編』を刊行します。	3,127
総計			90,753

美術館

1. 概要

平塚市美術館は平塚市の文化の振興に寄与し、市民の生涯学習の活発な拠点となる恒久的な機関として、平成3年3月に開館しました。

「湘南の美術・光」をメインテーマに、地域の歴史や風土に根ざした個性的で特色のある芸術文化を形成するため、湘南にゆかりのある作品、並びに国内外の優れた近現代美術の収集、調査・研究と展示・教育活動を行っている。また、芸術文化活動の発表の場としての市民アートギャラリー等の貸出などを行っています。

2. 当初予算

事業名		事業概要	予算 (単位：千円)
1	魅力ある美術展覧会事業 【実画】	多様な年齢層が国内外の優れた近現代美術作品に接する機会を充実するため、テーマを設定した企画展と所蔵品を活用した特集展を開催します。令和6年度は、「平野杏子展－生きるために描きつづけて」、「ザ・キャビンカンパニー展」、「落谷虹児展」などの展覧会を開催します。	44,085
2	美術教育の普及・体験事業 【実画】	美術普及活動を推進するため、ワークショップ等を開催します。	9,935
3	美術品の調査・収集事業	美術品の収集活動・調査研究や保存活動を行い、作品情報等を情報コーナーで公開します。	3,257
4	アートギャラリー等施設 利用促進事業	館を訪れる方の安全の確保と美術品の良好な保存のため、施設の補修や保存点検等適切な維持管理をします。令和6年度は、美術館屋上及び外壁の大規模改修に向け、設計業務を実施します。	168,129
総計			225,406

令和6年度 平塚市社会教育関連事業【社会教育課】

事業名		開催日	会場
1	八幡山の洋館 「第26回ひらつか音楽のおくりもの」	5/25（土）・26（日）	旧横浜ゴム平塚製造所記念館
2	第23回村井弦斎まつり	9/29（日）	村井弦斎公園
3	第72回平塚市文化祭	10/12（土）～11/10（日）	中央公民館・美術館・ ひらしん文化芸術ホール
4	平塚市指定重要文化財展	10/4（金）～11/4（月）	平塚市博物館1階寄贈品コーナー
5	八幡山の洋館 「第27回ひらつか音楽のおくりもの」	11/9（土）・10（日）	旧横浜ゴム平塚製造所記念館
6	市民大学交流事業 子ども大学ひらつか（奏 アカデミー東海大学）	11月頃を予定	東海大学
7	第48回ひらつか民俗芸能まつり	11/17（日）	中央公民館
8	八幡山の洋館「第14回クリスマスフェスタ」	12/6（金）・7（土）・8（日）	旧横浜ゴム平塚製造所記念館
9	第70回文化財防火デー	1月下旬	未定
10	第52回相模人形芝居大会（県共催事業）	3/16（日）	南足柄市文化会館
11	八幡山の洋館 文化・歴史講座	3月予定	旧横浜ゴム平塚製造所記念館
12	第47回ひらつか市展	3/2（日）～16（日）	平塚市美術館
13	埋蔵文化財調査事務所開放事業	3月予定	埋蔵文化財調査事務所
14	ガイドと巡る平塚の文化資源 （ひらつか文化財ガイドボランティア協会）	5、6、9、11、1月開催（年5回）	市内各地域の文化財・史跡等
15	芸術文化子ども体験事業 小・中学校、公民館等への講師派遣	未定 通年	各地区 各学校
16	放課後子ども教室推進事業	通年	やわた子ども村 港放課後子ども教室（H28～）
17	地域学校協働活動推進事業 ※旧地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業	通年	横内マイタウンスクール（H27から支援）
18	地域教育力ネットワーク推進事業	通年	各地区

令和6年度 平塚市公民館関連事業

令和6年5月10日現在

	事業名	開催日	会場
1	中央公民館事業（市民大学講座） 市民病院の現場から 他	通年	中央公民館
2	中央公民館事業（市民アカデミー） お仕事体験シリーズ「伝える仕事」 他	通年	中央公民館
3	第42回公民館フェスティバル	11月8日（金）～10日（日）	中央公民館
4	家庭教育講演会	12月	中央公民館
5	第32回ちゅうおうFESTA	1月25日（土）～26日（日）	中央公民館
	公民館まつり	2月中旬～3月中旬	各地区公民館
6	地区公民館事業（自主事業・共通事業等）	通年	各地区公民館他
7	地域活動サポート人材登録制度 知恵袋バンク事業	通年	各地区公民館他

令和6年度平塚市スポーツイベント等行事予定表

令和6年4月1日現在

項目 月	市関係行事		全国・関東・県大会等
	大会・講習会等	会議等	
4月			
5月		14(火) 推委5月研修(平ア) 24(金) 市総体トリム抽選会 及び監督会議	
6月	2(日) 第72回市総体ニュースポーツ大会トリムバレー ボール競技(平ア) 23(日) 第10回ポッチャ競技大会(平ア)	15(土) 県スポ少ノド(平ア) 中旬 第61回少年野球大会 抽選会及び監督・主将会議	7(金)～8(土) 関東スポーツ推進 委員研究大会(千葉県)
7月	19(金)～21(日)、27(土)第61回少年野球大会(大神) 28(日)第58回少年少女水泳大会(総体プ) (27(土) 事前準備) 7月下旬～8月上旬 小学校プール開放	7(日) 県スポ少バレー(平ア)	
8月	4(日)第61回少年野球大会決勝(球)		
9月			6(金)～8(日) 第78回全国レクリエーション大会 (栃木県)
10月	6(日) 第53回 少年少女剣道大会(総体) (5(土) 事前準備) 20(日) 第7回ひらつかパラスポーツフェスタ 第11回ひらつかポッチャ競技大会(平ア) (19(土) 事前準備) 27(日) 第72回市民総合体育大会弓道競技(総体)	22(火) 推委10月研修(平ア)	5(土)～15(火) 国民スポーツ大会本大会(佐賀県)
11月	3(日) 第72回市民総合体育大会水泳競技(総体) 10～17(日) 第72回市民総合体育大会(総体・平ア・大神 他)	3(日) 財団囲碁ボール交流会 (平ア) 10(日) 市スポーツ功労者表彰 (市総体開会式にて)	14(木)～15(金) 全国スポーツ推進委員研究協議会 (宮崎県) 23(木・祝) 県スポーツ推進委員連合会(藤沢市)
12月	中旬 平塚市民・大学交流スポーツフェスタ 陸上競技・バスケットボール・バレーボール(東海大学)	8(日) 全国スポ少バレー神奈川 県予選(平ア) 10(火) 推委12月研修(平ア) 中旬 市内駅伝競走大会監督会 議	1(日) 第19回湘南国際マラソン
7年 1月	12(日) 平塚市市内駅伝競走大会 /地区対抗・実業団対抗(総公内～山城中)	上旬 スポーツ団体新年の集い 19(日) スポ少運動適性テスト(平 ア)	1月～2月 国民スポーツ大会 冬季大会 (北海道) (スケート・アイスホッケー競技)
2月	中旬 スポーツ指導者講習会	11(火・祝) 市スポーツ優秀選手表彰・ スポーツ協会納会 16(日) 推委研修大会(平ア)	2(日) 県スポーツ推進委員大会 (川崎市) (未) かながわ駅伝 13(木)～16(日) 国民スポーツ大会 冬季大会 (秋田県)(スキー競技)
3月	1(上) 第55回少年少女マラソン大会(競・園) (8(土) 予備日) 8(土) 市民・大学交流小学生サッカー教室(馬サ) 23(日) 第12回ひらつか市民スポーツフェスティバル (22(土) 事前準備)(総公・総体・競・球)	4(火) 推委3月研修(平ア)	
※ () は会場 大神→大神スポーツ広場 桃→桃浜町庭球場 軟庭→軟式庭球場 平ア→ひらつかサン・ライフアリーナ(ひらつかアリーナ) 総公→総合公園 下線は、 ネーミングライツ導入 による「愛称」 総体→トッケイセキアリーナ平塚総合体育館(総合体育館) 競→レモンガスタジアム平塚(平塚競技場) 馬サ→馬入ふれあい公園サッカー場(人工芝) 球→パッチャグバレス相石スタジアムひらつか(平塚球場) パーク→木村植物園湘南ひらつかパークゴルフ場 園→総合公園園路			

令和 6 年度 平塚市社会教育関連事業【中央図書館】

	事業名	開催日	会場
1	子ども読書の日記念事業	4月～5月	市内4図書館
2	一日図書館員	夏休みを予定	市内4図書館
3	子ども読書活動推進プロジェクト	夏～冬で3回程度開催予定	中央図書館
4	3館コラボ事業 (美術館、博物館、中央図書館)	夏休みを予定	中央図書館
5	秋の読書週間	秋を予定	市内4図書館
6	中学生・高校生図書館ボランティア	夏休みを予定 冬休みを予定	市内4図書館
7	市民の図書館体験	秋～冬を予定	市内4図書館
8	ブックスタート	通年	市内4図書館、きりんのうち
9	赤ちゃんおはなし会	月1回	市内4図書館
10	こどもおはなし会	月3回（中央） 月2回（西） 月1回（北・南）	市内4図書館
11	みんなのおはなし会	月1回	市内4図書館
12	赤ちゃんタイム	通年	市内4図書館
13	映画会	年8回を予定（中央図書館） 年3回を予定（西図書館）	中央図書館・西図書館
14	「各中学校区子ども読書活動推進協議会」 による読み聞かせや図書整備などの活動	通年	市内各中学校区 (休会地区あり)
15	子ども読書活動推進計画（第5次）の策定	令和7年3月（予定）	中央図書館

展 示

夏期特別展「標本で！植物観察」では、博物館が所蔵する植物標本でじっくり観察する、をテーマに身近にみられる植物を紹介します。秋期特別展では、市内各地域の講で回されていた道具や地蔵・不動などの巡行仏を紹介します。「第24回博物館文化祭」では、博物館で活動するワーキンググループの活動成果を展示発表します。春期特別展では、平塚にゆかりの社会や文化の発展に寄与した近代の女性たちを平塚人物史研究会との協働で紹介します。

1階寄贈品コーナーでは概ね月替わりで各分野のテーマ展を開催します。2階情報コーナーでは特別展のダイジェスト展や博物館学芸員実習生による企画展などを開催します。

特別展	春期特別展 「ひらつかの古道をゆく」(人文合同)	2024 3月 20日 ~ 5月 19日
	夏期特別展 「標本で！植物観察」	2024 7月 20日 ~ 9月 4日
	秋期特別展 「(仮)家を廻るお地蔵さん」(民俗)	2024 10月 19日 ~ 12月 22日
	第24回博物館文化祭 ワーキンググループ展示・活動報告会・実演	2025 2月 7日 ~ 2月 27日
	春期特別展 「(仮)近代ひらつかの女性たち」(歴史)	2025 3月 20日 ~ 5月 18日
寄贈品 コーナー	天文 「流星の故郷を探して～シチズンサイエンス～」	2024 3月 1日 ~ 4月 7日
	自然系 「新着資料展 ー自然分野ー」	4月 11日 ~ 5月 12日
	人文系 「新着資料展 ー人文分野ー」	5月 16日 ~ 6月 30日
	歴史 「平塚空襲」展	7月 4日 ~ 8月 18日
	考古 「未定」	8月 22日 ~ 9月 29日
	「令和6年度 平塚市指定重要文化財展」(教育委員会社会教育課)	10月 4日 ~ 11月 4日
	地質 「(仮)鉱物」展	11月 9日 ~ 12月 15日
	天文 「(仮)火星接近」	12月 19日 ~ 2月 2日
	生物 「みんなで調べよう「平塚のカマキリ」結果報告！」	2025 2月 7日 ~ 4月 6日
情報 コーナー	天文 ポスト特別展「天象儀100年の軌跡～プラネタリウムの仕組み編～」	2024 1月 18日 ~ 4月 7日
	天文 ポスト特別展「天象儀100年の軌跡～プラネタリウムの歴史編～」	4月 12日 ~ 6月 2日
	地質 (仮)ミニ恐竜展in hirahaku アロサウルス襲来	6月 20日 ~ 9月 1日
	博物館実習展示	9月 13日 ~ 9月 25日
	天文 (仮)県内プラネの歴史	9月 28日 ~ 11月 17日
	生物 (仮)中勘助と鳥、の物語	11月 23日 ~ 1月 13日
	民俗 ポスト特別展	2025 1月 18日 ~ 終期 未定

プラネタリウム

プラネタリウムの一般投影は、毎週土・日曜日と、春・夏・冬休み期間中の水・木曜日に、1日2回、70名の定員で実施します。特別投影等も実施する予定です。また、幼児団体投影・学習投影は予約制で水・木・金曜日の午前に実施します。特別投影の星空音楽館はコロナ禍の中止を経ての復活です。

一般投影	一般向け投影 見えないブラックホールを見る	2024 3月 2日 ~ 5月 5日
	一般向け投影 月を詠み星を綴る～王朝文学に刻まれた月と星～	5月 11日 ~ 7月 14日
	一般向け投影 銀河鉄道に乗って	7月 20日 ~ 9月 1日
	一般向け投影 リフトオフ！～ロケット打ち上げを見よう～	9月 7日 ~ 10月 27日
	一般向け投影 フリートーク・プラネタリウム	11月 2日 ~ 12月 1日
	一般向け投影 2025年の天文現象	12月 7日 ~ 1月 26日
	一般向け投影 VTuber 星見まどかと探る太陽系の衛星のヒミツ	2025 2月 1日 ~ 4月 6日
	幼児向け投影 やどかりくん まんげつのひみつち	2024 4月 6日 ~ 8月 31日
	幼児向け投影 すいせいゴエモンのぼうけん	9月 7日 ~ 12月 28日
	幼児向け投影 未定	2025 1月 4日 ~ 3月 29日
特別投影	星空散歩 (偶数月、月初の土または日、6回)	2024 4月 ~ 2月
	「ひらはくオールスターズ」(5・9・1月の月初の土または日、3回)	5月 5日 ~ 1月
	星空タイムトラベル	6月・10月
	星空音楽館 (4回)	2024 5月 ~ 1月
コンサート	シアトリカル・プラネタリウム (雑貨団、1回)	未定
	プラネタリウム・コンサート	未定

各種普及行事

申込制 行事	考古	体験学習「昔の方法で火を起こそう」	未定	
		体験学習「カラフルな勾玉をつくろう」	8月	
		考古学入門講座（3回）	9月～12月	
	歴史	郷土史入門講座（3回程度）	2025	1月～3月
	民俗	石仏めぐり	11月 3日	
		体験学習「お飾りをつくろう」	12月 21日	
		「館長の民俗学入門」講座	5月～2月	
	地質	自然観察入門講座「相模川流域ジオツアー入門」(3回)	9月～1月	
		体験学習「化石レプリカをつくろう」	2024	8月 14日
		地球科学入門講座	2025	1月～3月
	生物	自然教室（6回）	2024	4月～3月
		体験学習「手羽先骨格標本をつくろう」	7月 31日	
		キノコの観察会	10月	
	天文	星を見る会（10回）	4月～3月	
		天文学入門講座「銀河の世界」、「彗星の科学」各4回	2024	4月 13日～12月 15日
		最新天文学講座（2回）	未定	
		プラネタリウムを操作してみよう	未定（夏）	
	総合	こどもフェスタ	4月 27日・4月 28日	
		平塚学講座	9月～12月	

自由参加	民俗	ろばたばなし	月1回 日曜日	
		学芸員が語る「相模の家のくらし」	ろばたばなしと同日	
	地質	化石ペーパークラフトをつくろう	6月～8月	
	天文	体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」(4回)	8月 2日	

会員制 行事	考古	平塚の古代を学ぶ会	毎月1回水曜日	
		古代生活実験室	毎月1回木曜日	
		東国史跡踏査団	毎月1回土曜日	
	歴史	古文書講読会	毎週金曜日	
		裏打ちの会	毎月1回水曜日	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	毎月1回土曜日	
		地域史研究ゼミ	毎月1回土曜日	
	民俗	石仏を調べる会	毎月第二第四木曜日	
		民俗探訪会	毎月第三水曜日	
		祭りばやし研究会	毎月1回土曜日	
		聞き書きの会	毎月第二火曜日	
	地質	地球科学野外ゼミ（野外6回、室内5回）	毎月1回__土or日曜日	
	生物	生き物ズームプロジェクト	毎月1回日曜日	
	天文	天体観察会	毎月1～2回土・日曜日	
		流星観察会	毎月1～2回土・日曜日	
	総合	展示解説ボランティアの会	定例会、毎月1・3木曜日	

その他の全館的事業

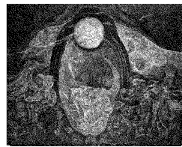
館内のくん蒸・消毒に伴う休館	2024	6月 4日～6月 14日
博物館実習	2024	9月 4日～9月 12日

令和6年度(2024～2025年)平塚市美術館展覧会予定

展示室1

2024
4月

平野杏子展 - 生きるために描きつづけて
HIRANO kyoko - A dedicated life for painting
4月6日(土)～6月9日(日)



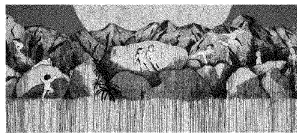
平野杏子《生きるために描きつづけて》1970年 当館蔵

平塚市在住の洋画家、平野杏子(1930-)の本格的回顧展を開催します。女性作家が少ない時代に結婚、出産をへて育児と制作のはざまでとりつめた濃密な仏教思想や出身地・伊勢原の大山信仰に裏打ちされた原始へのまなざしによる代表作およそ60点に及ぶ70年に及ぶ画業を振り返ります。

6月

ザ・キャンパンカンパニー
大絵本美術展<童堂賛歌>
7月6日(土)～9月1日(日)

絵本作家ザ・キャンパンカンパニー(阿部健太郎・吉岡紗希)の結成15周年を機に開催する初の大規模個展。『しんごきびり』や『がっこうにまにあわない』などの絵本原画のほか、立体作品や映像作品など、彼らの幅広い仕事を紹介します。小さなお子さまからおとなまでどなたでもおたのしみいただける展覧会です。



ザ・キャンパンカンパニー《童堂賛歌》2023年 作家蔵

9月

落谷虹児展
10月5日(土)～11月24日(日)

落谷虹児(1898-1979)は大正時代から昭和時代にかけて少女雑誌の表紙絵や挿絵、絵本や童話の挿絵で人気を博しました。文化や芸術が 대중のものとして浸透していく過程で、出版界の花形作家として落谷が果たした役割は大きいものでした。本展では、60年におよぶ落谷の画業を回顧します。



落谷虹児《世界の少女》(原画)1924年 落谷虹児記念館蔵

11月

12月

2025
1月

2月

3月



当館ウェブサイト



割引案内ウェブサイト

開館時間：9時30分～17時00分(入場は16時30分まで)
休館日：月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は、翌火曜日休館)、年末年始(12月29日～1月3日)
展覧会の名称や会期等は変更する場合があります。
休館日や各展覧会の入場料金等の詳細は、当館ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/art-muse/index.html>

■駐車場を利用して展覧会をご観覧いただいた場合、入庫後90分以内は無料となります。ただし、館内チケット売場の認証が必要です。
■インターネット割引
携帯電話で取得してご提示いただくか、割引券をプリントアウト(印刷)してお持ちいただくと、企画展・特集展の観覧料を割引いたします。
割引券の詳細はこちら <https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/art-muse/info3.html>

展示室2

1950～60年代の日本画 - 造形への挑戦
4月6日(土)～6月2日(日)

1950～60年代にかけて日本画の革新が目指され、欧米の絵画を参照した堅牢な造形や力強いマチエール、抽象表現が取り入れられました。本展では当館の所蔵品の中からこの時期に制作された作品約50点を展示し、その造形的な特徴の一端をご紹介します。



北澤晩月《花》1954年 当館寄託

つながるコレクション+新収蔵品展
6月8日(土)～9月8日(日)

様々なつながりの中で成り立ってきたわれわれの社会は新型コロナウイルスの流行に伴い人々の関係が疎遠になってきた現状があります。本展では改めて「父子」「師弟」「仲間」もしくは「個人・社会」「人間・自然」、作品同士の共通点など様々なつながりに光をあて、収蔵作品の新たな魅力を発見し、地域や社会の来し方行く末を考えるきっかけにしたいと思います。



今村純正《生きている土地》1913年頃 当館蔵

おしゃべり美術館
ひらびあ一つま〜れ10年記念展
9月21日(土)～2025年2月16日(日)

2015年から平塚市内の小学生を対象に活動してきた「対話による美術鑑賞」の事業を振り返る展覧会。所蔵品を中心に、対話のみちびきとなるような作品を展示し、鑑賞会などを通じて対話型鑑賞そのものを紹介します。



工藤甲人《樹木のうた》1956年 当館蔵

教育普及事業

平塚市美術館では、アトリエA(157平方メートル)とアトリエB(111平方メートル)を中心にワークショップ、その他にギャラリートークや講演会、バックヤードツアーなどさまざまな教育プログラムを随時開催しております。各プログラムの詳細、応募方法などは、随時当館ウェブに更新いたします。



皆さまのご参加をお待ちしております。

鑑賞ボランティア

ひらびあ一つま〜れ10期生募集!

子どもたちと絵をみておしゃべりませんか?
美術作品を見て、考えて、話すことは、心を育て、思考力や想像力、コミュニケーション能力を育みます。平塚市美術館と市内小学校で、子どもたちと絵を見ておしゃべりする事業「対話による美術鑑賞」のボランティア(ひらびあ一つま〜れ)のメンバーを毎年募集しています。



詳細は、
当館ウェブにて
ご確認ください。



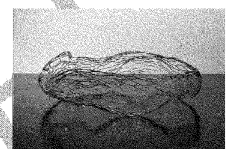
ロビー・テーマホール

中勘助平塚居住100年記念 中勘助の小宇宙
-「銀の匙」と「しづかな流」-
10月5日(土)～11月10日(日)

2024年は、作家・中勘助(1885-1965)が平塚に居住して100年となります。この節目となる年にあたり、2019年朝日出版社から刊行された『銀の匙』に描かれた安野光雅による挿画を中心に、平塚時代の生活を記した日記体随筆「しづかな流」(1932年岩波書店から刊行)などを通して、中勘助の日常への細やかな眼差しをご紹介します。

古井彩夏展
12月7日(土)～2025年4月6日(日)

彫刻家・古井彩夏(1988-)によるロビー展を開催します。鉄やステンレスを用いて自然の曲線を基調とした伸びやかな造形を表す現代彫刻約16点によってその世界観を紹介します。陽光のそそぐ広いテーマホールを舞台としたロビー展で近年活躍著しい作家がたっぷり軽やかな空気感をご堪能ください。



古井彩夏《ベアリング》2022年 本人蔵

5 議事

(1)令和6年度社会教育関係団体等への補助金の交付について

令和6年度 補助金一覧(社会教育部)

[社会教育課 補助金]

(単位 円)

	名称	6年度当初	5年度当初	増減	主な増減理由
1	文楽人形伝承団体補助金	220,000	220,000	0	
2	平塚市文化連盟補助金	360,000	360,000	0	
3	平塚市展委員会補助金	360,000	360,000	0	
4	市指定文化財保存管理奨励補助金(有形)	230,000	230,000	0	
5	市指定文化財保存管理奨励補助金(無形)	240,000	240,000	0	
6	平塚市指定文化財保存修理等補助金	0	2,524,000	△ 2,524,000	指定文化財修理 案件がないため
7	歴史再発見活動団体補助金	70,000	70,000	0	
合計		1,480,000	4,004,000	△ 2,524,000	

[スポーツ課 補助金]

(単位 円)

	名称	6年度当初	5年度当初	増減	主な増減理由
1	平塚市スポーツ協会補助金	960,000	960,000	0	
2	平塚レクリエーション連盟補助金	69,600	69,600	0	
3	平塚市体育振興連絡協議会補助金	70,000	70,000	0	
4	スポーツ全国大会等開催補助金	550,000	550,000	0	
5	サッカー文化の振興によるまちづくり事業補助金	2,000,000	2,000,000	0	
合計		3,649,600	3,649,600	0	

【参考】社会教育関係団体等との委託契約一覧(社会教育部)

【社会教育課 委託料】

(単位 円)

	名称	6年度当初	5年度当初	増減	主な増減理由
1	ひらつか民俗芸能まつり開催委託料	270,000	270,000	0	
2	平塚市地域教育力ネットワーク協議会運営委託料	1,700,000	1,700,000	0	
3	やわた子ども村放課後子ども教室運営委託料	600,000	600,000	0	
4	横内マイタウンスクール運営委託料	300,000	300,000	0	
5	港放課後子ども教室運営委託料	300,000	300,000	0	
6	金目エコミュージアム推進事業委託料	450,000	450,000	0	
7	平塚市文化祭開催委託料	1,255,000	1,255,000	0	
8	村井弦斎まつり委託料	210,000	210,000	0	
9	旧横浜ゴム平塚製造所記念館 指定管理者 管理運営委託料	18,487,000	18,254,000	233,000	賃金単価上昇に伴う人件 費増
	合計	23,572,000	23,339,000	233,000	

【中央公民館 委託料】

(単位 円)

	名称	6年度当初	5年度当初	増減	主な増減理由
1	ちゅうおうFESTA委託料	51,000	51,000	0	
2	市民体育レクリエーション開催委託料	3,997,000	3,997,000	0	
3	公民館フェスティバル開催委託料	107,000	107,000	0	
4	公民館まつり開催委託料	775,000	775,000	0	
	合計	4,930,000	4,930,000	0	

【スポーツ課 委託料】

(単位 円)

	名称	6年度当初	5年度当初	増減	主な増減理由
1	市民総合体育大会大会運営委託料	1,311,000	1,369,000	△ 58,000	自転車協会がスポーツ協会から退会のため
2	市民総合体育大会選手派遣委託料	1,543,000	1,543,000	0	
3	各種スポーツ大会運営委託料 (少年野球、市内駅伝、ハラスポーツフェスタ等)	1,779,000	1,779,000	0	
4	地区体育振興委託料	2,902,000	2,902,000	0	
5	競技力強化委託料	1,748,000	1,790,000	△ 42,000	自転車協会がスポーツ協会から退会のため
6	かながわ駅伝選手派遣委託料	152,320	152,320	0	
合計		9,435,320	9,535,320	△ 100,000	

【中央図書館 委託料】

(単位 円)

	名称	6年度当初	5年度当初	増減	主な増減理由
1	子ども読書活動推進事業委託料 (60,000円×14団体)	840,000	840,000	0	
2	子ども読書活動ネットワーク運営委員会委託料	50,000	50,000	0	
合計		890,000	890,000	0	

【博物館 委託料】

(単位 円)

	名称	6年度当初	5年度当初	増減	主な増減理由
1	該当なし			0	
合計		0	0	0	

【美術館 委託料】

(単位 円)

	名称	6年度当初	5年度当初	増減	主な増減理由
1	該当なし			0	
合計		0	0	0	

(2)今後の協議の進め方について

① 前期報告書の確認

●令和4・5年度

8回の会議を開催し、「子どもたちの地域参加・参画～顔の見えるつながりをめざして～」という報告書をまとめました。

報告書の中では、家庭、学校、地域のこれまでの状況から、「子どもたちとのつながり」、「学校との連携」、「地域の工夫」の項目に協議された内容をまとめることができました。

②今期の協議テーマについて

メ モ ・❀・❀・❀・❀・❀・❀・❀・❀・❀・❀・❀・❀・❀・❀・❀・

令和6年度研修会について

- 1 日 程：令和6年9月2日(月)（参考：令和5年度開催参加者数 107 名）
- 2 時 間：13 時 00 分～16 時 30 分（受付：12 時 30 分～）
- 3 会 場：神奈川県立総合教育センター 講堂
- 4 内 容
 - (1) 講演 (60 分)
テーマ「地域の教育力向上のためにそれぞれができること」(仮)
 - (2) シンポジウム (90 分)
内容：講演テーマに沿った内容
- 5 講演講師・シンポジウム登壇候補者
 - 講師 青山学院大学 コミュニティ人間科学部コミュニティ人間科学科 教授
神奈川県社会教育連絡協議会 県理事 伊藤 真木子 氏
 - ファシリテーター 青山学院大学 伊藤 真木子教授
 - 県社教連 理事 or 市町村社会教育委員
 - 教育事務所 or 市町村社会教育主事
 - 県社教連事務局長
 - その他（ ）
- 6 時程 (案)

13:30～13:40	開会・あいさつ
13:40～14:40	講演 (60 分)
14:40～14:50	休憩
14:50～16:20	シンポジウム (90 分)
16:20～16:30	総括 (講師・会長)
16:30	閉会

令和 7 年度 第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会 開催概要（案）

- 1 大会スローガン 未定
- 2 研究主題 未定
- 3 趣 旨 未定
- 4 開催日 令和 7 年 11 月 20 日（木）・21 日（金）
- 5 主 催/共 催
第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会、神奈川県社会教育委員連絡協議会、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、一般社団法人全国社会教育委員連合、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会
- 6 参加予定人数
700 名 ・ 関東甲信越静各市町村社会教育委員及び事務局関係者
・ 同地区の社会教育関係団体会員、社会教育施設職員等社会教育関係者
・ 同地区の地域住民、NPO 法人、社会教育士、学校関係等生涯学習・社会教育に関心のある方、
- 7 開催地（横浜市）
【1 日目（全体会）】 関内ホール（大ホール）
〒231-0013 神奈川県横浜市中区住吉町 4-42-1
【2 日目（分科会）】 候補地
○関内ホール 小ホール
・ 264 人収容 ・ 関内駅徒歩 6 分 ・ 有料（減免措置あり）
○横浜情報文化センター 情文ホール
・ 239 人収容 ・ 日本大通り徒歩 1 分 ・ 有料（減免措置あり）
○横浜市開港記念館（中区公会堂）
・ 418 人収容 ・ 日本大通り駅徒歩 1 分 ・ 有料（減免措置？）
○神奈川近代文学館
・ 220 人収容 ・ 元町・中華街駅徒歩 10 分 ・ 有料（減免措置？）
○神奈川県立かながわ労働プラザ ホール全室
・ 294 人収容 ・ 関内駅徒歩 8 分 ・ 有料（減免措置？）
○横浜市技能文化会館 ホール 1
・ 200 人収容 ・ 関内駅徒歩 5 分 ・ 有料（減免措置？）
○かながわ県民センター
・ 200 人収容 ・ 横浜駅徒歩 10 分 ・ 有料（減免措置あり）
○神奈川公会堂 講堂（ホール）
・ 408 人収容 ・ 東神奈川駅徒歩 5 分 ・ 有料（減免措置？）
○横浜美術館 レクチャーホール
・ 240 人収容 ・ みなとみらい駅徒歩 5 分 ・ 有料（減免措置？）

8 参加費 4,000 円（参加資料代等）

9 日程（予定）

日	9	10	11	12	1	2	3	4	5		
第1日目 11月20日 (木)				受付	ア ト ラ ク シ ョ ン	開 会 行 事	記 念 講 演	休 憩	シン ポ ジ ウ ム	閉 会 行 事	分 科 会 打 合 せ
第2日目 11月21日 (金)	受付	分 科 会 (5)		閉 会 ・ 解 散	*受付開始時間 第1日目 11:40～ 第2日目 8:50～						

10 大会内容

○第1日目（全体会）

- ・アトラクション
- ・開会行事
- ・記念講演
- ・シンポジウム
- ・閉会行事

○第2日目（分科会）

- ・分科会テーマ（案）

①地域の教育力の活用と育成

→積み重ねてきた地域の教育力の活用をとおして次代へつなぐための社会教育委員の役割について考える。

②環境問題/持続可能な社会

→予測できない未来に向けて、持続可能な社会の担い手を育成するために社会教育ができることを考える。

③家庭教育支援

→子育て・家庭教育の大切さを認識し、地域・学校など社会全体で支えるような家庭教育を支援する取組について考える。

④共生社会の実現

→全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現にむけ社会教育の役割について考える。

⑤地域学校協働活動

→地域学校協働活動において地域の資源を生かし、活動をとおして地域の活性化、積極的な世代間交流に向けた取組について考える。

※各分科会2事例（神奈川県以外から1事例＋神奈川県から1事例）